

資料3

西脇市立西脇病院経営基本計画

— 実施計画 —

平成27年4月

1 策定の趣旨

近隣病院の統合や医療(介護)体制の改革など、西脇病院を取り巻く環境が変化するなか、将来を見据えつつ平成27年度からの当面の5年間についての経営計画を策定し、今後の政策の展開方針を示しています。31年度を目標とする基本計画に掲げる政策・施策の推進を図るため、具体的に取り組む事業内容や活動方針を体系的に取りまとめ、実施計画を策定しました。

2 実施計画の期間

平成27年4月から32年3月までの5年間とします。毎年度、前年度の実績を踏まえ、当該年度の具体的計画と数値目標を設定した実施計画を策定します。

3 実施計画の体系図

事業運営の目標	施策	No.
診療機能の強化	特色ある医療の提供	
	がん治療	1
	脳卒中治療	2
	糖尿病治療	3
	精神疾患	4
	救急・災害への対応強化	5
	チーム医療の推進	6
	医療安全・感染対策の強化	
経営基盤の確立	収入の確保	
	入院収益の確保	8
	外来収益の確保	9
	検診・健診への積極的な取組	10
	収入の確実な確保	11
	支出の削減	
	給与費、材料費、経費の削減	12
	適切な投資・施設整備管理	13
	医療技術部門の強化	
	薬剤部	14
	検査部	15
	放射線部	16
	リハビリテーション部	17
臨床工学部	18	
	患者満足度の向上	19
人材の確保・育成	医師・看護師等の確保	20
	研修制度の充実、研究等発表機会の確保、意欲向上	21
地域との連携、 交流の強化	病病・病診連携の強化	22
	地域医療を守る活動の支援	23
	情報発信の強化	24

No.1 特色ある医療の提供 がん治療

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
がん診療連携拠点病院の継続 集学的治療及び緩和ケア提供体制の整備、標準的治療等の提供を行うとともに、地域医療機関等との連携を構築する。	継続申請	指定要件の整備				→
緩和ケア食の構築 化学療法や放射線療法中の患者、ターミナルケアの患者に対し、患者のニーズに応じた食事提供が行えるよう食種の構築を目指す。	関係各所に調整 運用開始	運用開始後の評価				→
緩和ケアチームへの協力 緩和ケアチームが発動となった患者に対し、食事・栄養面からサポートを行う。	実施					→
病診連携の強化 がん地域連携クリティカルパスを増やし、病診連携の強化を図る。	バス件数: 10件	バス件数: 12件	バス件数: 15件	バス件数: 20件	バス件数: 25件	→
人間ドックのオプション検査等 人間ドックのオプション検査化に伴い、PR強化による受診者数の増加を図る。						→
がん関連認定看護師等の取得 緩和ケア、疼痛緩和などがん関連の看護ケアの充実を図り、がん診療拠点病院として積極的ながん治療を行う。	緩和ケア認定看護師の資格取得					→ がん関連認定看護師の複数の資格取得何人?

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績の比較	27年度 (目標)
新入院がん患者数	(人)	1,360	1,500	1,287	C	1,500
放射線治療延患者数	(人)	2,495	2,600	2,614	A	2,600
外来化学療法延患者数	(人)	1,228	1,340	1,273	B	1,470
子宮がん検診	(人)	182	190	161	C	190
肺がん検診	(人)	194	200	136	C	200
乳がん検診	(人)	539	550	592	A	620
ABC検査	(人)	60	90	113	A	130
CT件数	(件)	17,626	18,200	16,054	C	18,000
MRI件数	(件)	5,292	7,000	5,946	B	6,500
RI件数	(件)	603	650	538	C	650
マンモ件数	(件)	1,044	1,200	1,046	B	1,200

No.2 特色ある医療の提供 脳卒中治療

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
臨床パスの効果的な運用 連携医療機関の回復期リハビリ病棟、療養型病棟への有効活用を行う。	連携件数 139件	連携件数 140件	連携件数 141件	連携件数 142件	連携件数 143件	→
3.0テスラMRIの運用 北播磨圏域の医療拠点病院として、脳血管疾患の機能強化を図る。	フル稼働	フル稼働				→
脳卒中認定看護師の育成 脳卒中リハビリテーション認定看護師を育成する。	複数化への準備				2名	→
摂食嚥下障害認定看護師の育成 摂食嚥下障害看護認定看護師を育成する。	複数化への準備				2名	→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績の比較	27年度 (目標)
パスによる紹介件数	(件)	180	215	139	C	140
脳卒中(脳外科)入院件数	(件)	521	—	492	C	—

No.3 特色ある医療の提供
糖尿病治療

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
糖尿病教室 年2回開催し、食に関する知識の普及に努める。	調理実習と講義、食事会とグループワーク					→
外来や予防指導の充実 糖尿病合併症外来や糖尿病透析予防指導において、医師・看護師等と連携し、患者に応じた、適切な指導を行う。	実施					→
糖尿病患者への栄養指導 入院患者:適切な食事提供 栄養指導依頼提案 外来患者:継続的な栄養指導	実施					→
専門知識を持つスタッフの育成 糖尿病に関する認定栄養士を育成する。	糖尿病療養指導士の資格取得のための研修に	糖尿病療養指導士の資格取得				→
糖尿病認定看護師の育成 糖尿病認定看護師を育成する。	糖尿病看護認定教育課程受講 1名	糖尿病看護認定看護師資格取得				→
血液浄化ベッド数の増加 当院で血液浄化を行い、外来にて血液浄化を行う患者を増やす。	増床の準備	ベッド数の増加(18床に)				→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績の比較	27年度 (目標)
血液浄化ベッド	(床)	17	17	17	A	18
入院血液浄化件数	(件)	1,468	1,500	997	C	1,000
外来血液浄化件数	(件)	5,797	5,500	5,426	C	5,500
栄養指導件数	(件)	1,515	1,500	1,554	A	1,500
NST介入件数 (栄養サポートチーム)	(件)	889	900	855	C	900

No.4 特色ある医療の提供 精神疾患

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
認知症疾患センターの指定 認知症疾患における鑑別診断、地域における医療機関等の紹介、問題行動への対応についての相談の受付などを実施する。	認知症疾患センターの指定、スタッフの育成					→
精神科リエゾンチーム加算の算定 精神科リエゾンチーム加算の算定に向けたチームの結成を進める。	精神科リエゾンチームの結成、加算の算定					→
特定研修施設の指定 リエゾン専門医を目指す特定研修施設の指定を受け、スタッフを育成する。	特定研修施設として指定を受けた	リエゾン専門医・スタッフの育成				→
がん患者の心のケア(サイコオンコロジーの領域)	緩和ケアチームの一員として活動・研修					→
ECT等専門治療	入院患者へのECTは6件	精神科病院と連携し、年間10件を目指す				→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績の比較	27年度 (目標)
入院精神療法件数	(件)	5,900	8,000	5,523	C	6,000

No.5 特色ある医療の提供
救急・災害への対応強化

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
災害備蓄品の確保 災害備蓄品(薬品、材料、食品)を3日分確保する。必要な数量・消費期限を定数管理し、更新等による経費負担を平準化する。	3日分確保					→
DMATチームの充実 DMAT隊員の強化(人数増員、訓練・研修会参加)を図り、災害拠点病院として積極的に災害派遣を行う。	DMAT隊員(医師2、看護師3、事務2)の7人体制を目指す。					→
医療救護班の充実 医療災害訓練の積極的な参加により医療救護のスキルアップを図り、災害、救急対応を行う。	定期的な訓練の実施					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績の比較	27年度 (目標)
救急搬送件数	(件)	7,800	8,000	7,476	C	8,000

No.6 チーム医療の推進

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
薬剤師の入院棟配置 入院時における薬剤師の役割の拡大により、医師、看護師の負担軽減とともに、更なる医療の質の向上を図る。	新人教育を行い、病棟担当者の負担を軽減する。		病棟常駐化を目指し、病棟業務を充実させる。	薬剤師の病棟常駐		→
周術期等の口腔機能の管理 周術期に専門的な口腔管理を行うことで、呼吸器系合併症の軽減や抗がん剤、放射線治療による粘膜病変を軽減する。手術周期、高齢者の誤嚥性肺炎の防止などを目的とした活動を推進する。						→
糖尿病教育チーム活動の推進 糖尿病透析予防指導による生活習慣病対策を推進する。						→
認定看護師の資格取得支援 より高い医療サービスを実現させるため、優秀なスタッフの育成に努めるとともに、認定取得を積極的に支援する。		(2人)	(何人)	(何人)	(何人)	(何人)
臨床研修指導医の資格取得 厚労省が認定する臨床研修指導医講習を計画的に受講し、指導医数の充実を図る。		(2人)	(何人)	(何人)	(何人)	(何人)
地域看護力の向上 地域看護の質向上と担保に向けた看護教育研修センターでの、充実した研修を提供する。年間12回以上の開催を目指す。	センター機能の充実と継続した研修実施					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績 の比較	27年度 (目標)
NST介入件数【再掲】 (栄養サポートチーム)	(件)	906	900	855	C	900
緩和ケア介入件数	(件)		-	25	B	
褥瘡対策チーム介入件数	(件)		-			
VAP介入件数 (人工呼吸器関連肺炎対策チーム)	(件)		-	95	B	
ICT介入件数 (感染制御チーム)	(件)		-			
認定看護師	(人)	2	2	2	A	2
臨床研修指導医	(人)	2	2	2	A	2
その他	(人)	3	3	3	A	3
合計	(人)	7	7	7	A	7

No.7 医療安全・感染対策の強化

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
職員の感染予防 病院に勤務する職員に、B型肝炎ワクチン やインフルエンザワクチンを予防接種すること により、職員への感染を未然に防ぐ。	実施					→
医療事故の防止 医療安全研修会を定期的開催するととも に、インシデント発生時には報告を徹底さ せ、原因の分析を行い、安心して安全な医療 の提供に努める。	実施					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実 績の比較	27年度 (目標)
インシデント発生件数	(件)	770	900	1,057	A	-
院内医療安全研修会開催件数	(件)	3	3	2	C	2
院内感染対策研修会開催件数	(件)	6	3	3	A	3
感染対策委員会開催件数	(回)	16	12	13	A	12
MRSA院内発生率	(%)	3.2	-	3.5	B	4
VAP介入件数(再掲) (人工呼吸器関連肺炎対策チーム)	(件)	75	-	95	B	95

No.8 収入の確保
入院収益の確保

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
7対1入院基本料の維持継続 看護師数、平均在院日数、看護必要度等 施設基準の確保を推進する。	実施					→
診療報酬改定の対策 2年毎に改正される診療報酬の対策を図り、収益を確保する。	改定		改定		改定	→
DPC分析 DPC分析データに基づく病院指標の作成と公開を行う。	実施					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績の比較	27年度 (目標)
1日平均入院患者数	(人)	287.4	290.0	269.5	C	280.0
病床稼働率	(%)	89.8	90.6	84.2	C	87.5
1人1日入院診療単価	(円)	49,691	49,500	49,573	A	50,400

No.9 収入の確保
外来収益の確保

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
救急患者の積極的な受入れ 消防からの受入れ体制(受入時間等)等を強化する。	年間8,000 人の受入れ	脳神経外科 の他に内科 の24時間当 直の実施				→
専門・特殊外来の設置 高度で、専門性の高い医師の配置により、 患者のニーズに沿った医療を提供する。	呼吸器内科 の常勤医師 配置及び乳 腺外科の開 設					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実 績の比較	27年度 (目標)
1日平均外来患者数	(人)	600.6	600.0	594.8	C	600.0
1人1日外来診療単価	(円)	12,172	12,500	12,526	A	12,800
救急搬送件数(再掲)	(件)	7,800	8,000	7,476	C	8,000

No.10 収入の確保

検診・健診への積極的な取組

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
人間ドックのレベルアップ 受診者が安心して健診を受けられるよう、人間ドック健診施設機能評価の認定取得を目指す。			申請・認定			→
受診枠の見直し 使用する医療機器、検査担当技師等を増やし、受診枠の拡大に向けた見直しを計画する。	見直し					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績の比較	27年度 (目標)
成人病検診	(人)	517	530	501	C	530
一泊人間ドック	(人)	123	130	89	C	130
日帰り人間ドック	(人)	392	390	396	A	470
乳児・新生児健診	(人)	438	460	412	C	460
妊婦検診	(人)	2,890	3,200	2,845	C	3,200

No.11 収入の確保
収入の確実な確保

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
職員夜間訪問徴収の実施 定期的に夜間訪問により徴収する。						→
	月5日、50件の訪問					
院内診療報酬研修会の実施 院外講師及び医事課職員による職員研修会を実施する。						→
	院外講師2回、医事課職員1回実施					

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績の比較	27年度 (目標)
過年度個人未収金	(千円)	22,000	21,400	18,346	A	20,100
院内診療報酬研修会開催件数	(回)	3	3	1	C	2

No.12 支出の削減

給与費、材料費、経費の削減

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
材料費(薬品費)比率の削減 見積り合わせの手法を協議し、削減に努める。	メーカーごとに変更を予定					→
材料費(診療材料費)比率の削減 SPDの効率化を進める。			見積合せにより、1社を選定。3年契約			→
経費比率の削減 光熱水費等、より効率的な削減・節減に努める。	実施					→
給与費比率の削減 収益効果の高い人材を確保する。	医師及び看護師の確保					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績の比較	27年度 (目標)
材料費比率(医業収益対比)	(%)	21.2	20.0	22.1	C	22.4
経費比率(医業収益対比)	(%)	14.4	16.3	17.3	C	17.1
給与費比率(医業収益対比)	(%)	53.4	55.5	88.6	C	57.5

No.13 適切な投資・施設整備管理

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
電子カルテシステムの更新 現システムの問題点を洗い出すとともに各社新機種のパフォーマンスを十分に検証し、よりよい電子カルテシステム環境の構築を目指す。	システムデモ、システム視察・審査・契約	11月1日 新システム稼働予定				→
医療機器整備計画の策定 専門性の高い高度医療機器や、患者ニーズの高い各種検査機器を計画的に導入することにより、よりよい医療を提供する。	策定	年度ごとに 見直し				→
資産の効率的な運用 利用頻度の少ない戸建て医師公舎の売却を進める。	院内調整、 売却		●			

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績 の比較	27年度 (目標)
機器整備金額(通常枠)	千円	79,983	150,000	150,000	B	950,000
機器整備金額(特別枠)	千円	298,020				

No.14 医療技術部門の強化 薬剤部

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
薬剤師の入院棟配置 入院時における薬剤師の役割の拡大により、医師、看護師の負担軽減とともに、更なる医療の質の向上を図る。	合理化を図り、入院棟担当者の負担を軽減する	入院棟常駐化を目指し、病棟業務を充実させる	入院棟常駐化を目指し、病棟業務を充実させる	入院棟常駐化を目指し、病棟業務を充実させる	薬剤師の病棟常駐	薬剤師の病棟常駐
抗がん剤調製の100%実施の維持 急激な件数増加に対処するため、休日対応も含め、調製人員の増強を図る。	調製担当者を養成	調製担当者を養成	調製担当者を養成	薬剤師のローテーションの確立(休日も含む)	薬剤師のローテーションの確立(休日も含む)	薬剤師のローテーションの確立(休日も含む)
後発医薬品の採用促進 後発医薬品の採用を進めるため、数量ベースの増加を目指すと同時に、包括部分の高額部分についても検討する。	医療情報の当院データで数量ベース74%となっている	医療情報の当院EVEデータで数量ベース67%を目指す	医療情報の当院EVEデータで数量ベース77%を目指す	医療情報の当院EVEデータで数量ベース87%を目指す		
医薬品情報等の情報提供強化 イン트라ネットを利用した情報発信に加え、メール等による発信にも取り組む。	次期電子カルテによる医薬品情報等の提供等を検討	新電子カルテによる情報提供	新電子カルテによる情報提供	新電子カルテによる情報提供	新電子カルテによる情報提供	新電子カルテによる情報提供

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績 の比較	27年度 (目標)
ハイリスク指導件数	(件)	5,633	6,000	5,347	C	5,300
その他指導件数	(件)	7,740	8,800	6,738	C	7,300

No.15 医療技術部門の強化
検査部

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
検査専門分野スタッフ育成 認定超音波検査士 細胞検査士 糖尿病指導療養士 他を育成する。	現在3人 現在2人 現在2人	随時増加を 目指す				→
各科からの検査要求対応 血液内科、循環器内科に対応した検査を 充実する。	輸血検査の 整備					→
各科からの検査要求対応 脳神経外科、内科に対応した検査を充実 する。	脳外科術中 モニタリング 検査					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実 績の比較	27年度 (目標)
超音波検査数	(件)	8,064	8,200	8,163	B	8,200
肺機能検査数	(件)	1,624	1,800	1,576	C	1,800
重心動揺検査数	(件)	430	470	260	C	300
脳波検査数	(件)	422	450	452	A	480
ABI検査数	(件)	1,411	1,600	817	C	850
心電図検査数	(件)	8,709	9,000	8,493	C	8,700

No.16 医療技術部門の強化
放射線部

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
3.0テスラMRIの運用 地域の医療機関との連携を強化し、院外からの受託件数を増やす。	フル稼働。 待ち期間の 解消へ					→
スタッフの育成 認定資格の取得による技術力の向上を目指す。					合計6人以上の認定技師の取得	→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績の比較	27年度 (目標)
アンギオ件数	(件)	398	450	364	C	450
骨測定量件数	(件)	1,100	1,250	988	C	1,200
一般撮影系件数	(件)	25,666	26,500	24,443	C	26,000
CT 件数(再掲)	(件)	17,626	18,200	16,054	C	18,000
MRI 件数(再掲)	(件)	5,292	7,000	5,946	B	6,500
R I 件数(再掲)	(件)	603	650	538	C	650
マンモ件数(再掲)	(件)	1,044	1,200	1,046	B	1,200
放射線治療件数	(人)	2,495	2,600	2,614	A	2,600

No.17 医療技術部門の強化
リハビリテーション部

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
施設基準の維持 脳血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)の施設基準を維持する。	施設基準を維持する					→
施設基準の取得 心臓大血管リハビリテーション料(Ⅰ)の施設基準を取得する。	施設基準を取得する	施設基準を維持する				→
1日1人取得目標単位数の設定 1日1人取得目標単位数を20単位とする。	目標19単位	目標20単位				→
リハビリ治療3連休の解消 継続的な入院リハビリ治療を充実する。						→
スタッフの育成 資格を取得する。福祉住環境コーディネータ3名、	糖尿病療養指導士、心臓リハビリ指導士					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績の比較	27年度 (目標)
脳血管疾患リハ単位数	(件)	24,512	27,671	23,662	C	24,236
廃用症候群リハ単位数	(件)	13,373	14,138	16,107	A	17,371
運動器リハ単位数	(件)	15,563	16,887	16,598	B	18,477
呼吸器リハ単位数	(件)	132	100	349	A	500
摂食療法リハ単位数	(件)	21	100	43	B	100
がん患者リハ単位数	(件)	131	400	255	B	500

No.18 医療技術部門の強化
臨床工学部

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
スタッフの育成 各種臨床業務に対応できるよう、スタッフの育成を図る。	複数業務への対応に向けての研修を実施					→
ME機器保守管理 安心できる医療の提供のため、ME機器の保守管理を充実させる。	保守機器の範囲を広げる					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績の比較	27年度 (目標)
ペースメーカー件数	(件)	68	100	98	B	100
心臓カテーテル件数	(件)	44	80	66	B	80
入院透析件数(再掲)	(件)	1,468	1,500	997	C	1,000
外来透析件数(再掲)	(件)	5,797	5,500	5,426	C	5,500

No.19 患者満足度の向上

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
意見箱の設置 意見箱を院内数か所に常設し、患者をはじめ来院者に意見や感想を記入いただき、医療サービスの改善に努める。	実施					→
患者アンケートの実施 1年に数回、期間を区切って、入院・外来患者にアンケート記入に協力いただき、サービスの向上を目指す。	実施					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績の比較	27年度 (目標)
患者アンケート実施回数	(回)	2	2	1	C	2

No.20 医師・看護師等の確保

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
医師公舎の改修 築年数、老朽度、必要数量を基に、適切な公舎維持を図り、働きやすい環境を整える。	改修計画の作成					→
医師確保 病院機能として必要な専門医等の確保を目指す。	募集・採用					→
看護師確保 修学資金制度を継続して実施する。	継続について検討					→
人材育成 スキルアップのための研究・研修会への参加を支援する。	参加支援内容検討					→
医師事務作業補助者の確保 配備により、医師の事務処理負担の軽減を図る。	8人配置。 40:1補助体制加算					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績の比較	27年度 (目標)
医師数 (各年度3月末現在)	(人)	52	54	47	C	52
研修医数 (各年度3月末現在)	(人)	7	8	6	C	8
看護師数 (各年度3月末現在)	(人)	252	262	263	A	270
奨学資金貸与者数	(人)	14	15	15	A	15
医師事務作業補助者	(人)	7	8	1	C	8

No.21 研修制度の充実、研究等発表機会の確保、意欲向上

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
院内研修 参加しやすい時間帯や内容を配慮しながら人権研修や接遇研修、交通安全研修などを実施する。	企画・開催 内容検討					→
院内・院外発表 院内発表会を定期的で開催し、成果発表の場を確保する。また、機会があれば、院外の発表会へも積極的な参加を促す。	企画・開催					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績 の比較	27年度 (目標)
院内研修会開催件数						
人権研修	(件)	2	2	1	C	2
接遇研修	(件)	1	1	1	B	1
交通安全研修	(件)	1	1	1	B	1
院内・院外発表件数						
院内発表会	(件)	2	2	2	B	2
院外発表会	(件)	0	1	2	A	1
職員アンケート	(回)	2	2	2	B	2

No.22 病病・病診連携の強化

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
地域医療支援病院の要件維持 新設科および院内の診療科充実等により、 紹介率の向上を目指す。	65.4%					→
バスによる連携強化 地域連携クリティカルバスによる病診連携の 強化を図る。(脳、骨、がん)	バス連携件 数196件					→
地域医療機関との連携 病院および施設間の訪問や奨励検討や講 演会等の開催を推進する。	近隣の病 院・開業医 訪問や検討 会などを充 実					→
退院調整の強化 北播磨の退院調整ルールの浸透・徹底、多 職種との連携による退院調整の強化等を行 う。	情報共有の ためのカン ファレンス等 を有効に利 用					→
地域医療システムの充実 地域医療システム「北はりま絆ネット」の運用 拡大を図る。	利用件数: 82件					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実 績の比較	27年度 (目標)
紹介率	(%)	61.9	65.0	65.4	A	66.0
逆紹介率	(%)	51.8	51.0	61.4	A	55.0
退院調整加算 I	(件)	920	770	1,100	A	800
介護支援連携指導料	(件)	364	430	444	A	435
退院時共同指導料	(件)	92	95	119	A	100
地域連携クリティカルバス(脳・骨)	(件)	225	230	186	C	190
地域連携クリティカルバス(がん)	(件)	—	—	—	—	12
院外者を対象とした症例検討会、 講演会の開催回数	(回)	17	30	40	A	30

No.23 地域医療を守る活動の支援

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
病院フェスタの開催 地域医療への理解促進を図り、病院の現状、医療の大切さを理解してもらう。また、様々なイベントを通じ、親しまれる開かれた病院づくりを目指す。	7月19日(土)に開催	以後、毎年開催				→
ボランティアの受け入れ ボランティア活動の円滑化及びボランティアの積極的な受け入れによって、患者サービスの充実・向上を図る。市民との交流とともに、地域に信頼される良質な医療の提供に努める。	受け入れを実施中					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実績の比較	27年度 (目標)
病院フェスタ来場者数	(人)	約2,800	2,900	1,500	C	1,500

No.24 情報発信の強化

取組内容	26年度 (現状)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ホームページの充実 新着情報の随時更新やタイムリーな情報の 発信に努める。	情報収集 情報発信					→
広報紙の発行 見やすく、親しみやすい紙面づくりに努め る。	編集・発行					→
教室・セミナーの開催 誰もが気軽に参加できる教室やセミナーを 企画し、開催する。	企画・開催 内容検討					→

数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (目標)	26年度 (実績)	目標と実 績の比較	27年度 (目標)
院内紙(ふれあい通信)	回	4	4	4	A	4
院外紙(ハートtoハート)	回	2	2	2	A	2
紀要	回	1	1	1	A	1
健康セミナー	回	11	11	11	A	11